Title	グローバル事業の経営パフォーマンスに与える影響 - グローバル事業再編における一考察 -
Sub Title	
Author	尾花, 英二 (Obana, Eiji) 浅川, 和宏
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2002
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2002年度経営学 第1758号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002002-1758

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	浅川 研究会	学籍番号	80128185	氏名	尾花 英二
(論文題名)					
グローバル事業の経営パフォーマンスに与える影響 - グローバル事業再編における一考察 -					
(内容の要旨)					
<p>本研究の目的は、企業のグローバル事業戦略を、規模の拡大を目指す海外依存度の向上、範囲の拡大を目指す地域的な市場拡散度の向上の二つの方向から捉え直し、各々の戦略と企業の経営成果としてのパフォーマンスの関係を検証することである。さらにグローバル事業の再編が今日的な課題となっている現状をふまえ、再編を試みる経営者に何らかの示唆を与えることである。</p> <p>企業が国内事業に留まること無くグローバルな事業展開を目指す理由は、第一に国内市場の停滞や飽和に際し成長機会を海外に求めるため、第二に低コスト化あるいは差別化という競合他社に対する競争優位性を構築するため、第三に投資リスクをグローバル規模で分散し経営を安定化させるための三つに大別できる。しかしながら海外市場に進出することで、企業は市場、政治、文化の点で国内にはない環境の変化に直面し、それらの変化から派生する様々なリスクを背負うこととなる。従ってグローバル事業から得られるメリットとデメリットが存在し、双方の立場から企業のグローバルな事業展開とパフォーマンスの関係について多くの実証研究がなされてきたが、未だに明確な結論に至っておらず、経営学、特に国際経営学において注目を集めるテーマの一つとなっている。</p> <p>本研究では、先行研究に基づき仮説を立て統計的手法を用いて検証した結果、海外依存度を高めることは高い企業パフォーマンスを生み出すと同時に利益の変動率も高め経営を不安定にさせる恐れがあること、海外事業の地域的な拡散はパフォーマンスに対して明確な影響は見られなかったものの利益の変動を抑え経営を安定させる可能性があることが支持された。この結果を踏まえ、海外依存度と地域的拡散度の戦略的な組合せを定義し、各組み合わせグループに属する企業に対しグローバル事業再編への示唆を提示した。</p>					